

## 第3学年 英語科 シラバス（学習の進め方）

名張市立桔梗が丘中学校

### 1. 英語科の目標

- 英語学習を通して、外国や自国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 国際語としての英語を学びながら、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

### 2. 身につけたい力

Listening(聞くこと)	<ul style="list-style-type: none"><li>○クラスメートの経験などについて、自分になじみのない話であっても、必要な情報や概要を理解することができる。</li><li>○海外の文化などの紹介や、社会的な話題についての短いニュースなどを聞いて、概要や要点を理解することができる。</li><li>○社会的な話題について、ディスカッションやディベートでの相手の主張を理解することができる。</li><li>○はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。</li></ul>
Reading(読むこと)	<ul style="list-style-type: none"><li>○クラスメートの経験や、社会的な話題などについて、自分の感想や考えを述べられるように、内容を読み取ることができる。</li><li>○日本や海外の文化、社会的な話題などについて、イラストや写真、図表なども参考にしながら、内容を読み取ることができる。</li><li>○社会的な話題についての記事や説明文などを読み、内容を整理しながら要点をとらえることができる。</li><li>○社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。</li></ul>
Speaking(話すこと)	
●Interaction (やりとり)	<ul style="list-style-type: none"><li>○自分やクラスメートの経験などについて、メモなどを活用しながら、たずねたり答えたりすることができる。</li><li>○日本や海外の文化などについて、質問をしたり答えたりしながら、理解を深めていくことができる。</li><li>○社会的な話題について、自分の願いや賛成・反対の意見を述べながら、話し合うことができる。</li><li>○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。</li></ul>

●Production (発表)	<p>○自分やクラスメートの経験などについて、メモなどを活用しながら、具体例や感想などを加えて話すことができる。</p> <p>○日本や海外の文化などについて、自分で作成したパンフレットなどを活用し、様々な情報を加えながら、紹介することができる。</p> <p>○社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の願いや意見を発表することができる。</p> <p>○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p>
Writing(書くこと)	<p>○自分の経験などについて、具体例や感想などを加えて、まとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>○日本や海外の文化などについて、文章構成を意識したまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>○社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の願いや意見を書くことができる。</p> <p>○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。</p>

### 3. 学習内容

1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受け身</li> <li>• 現在完了形</li> <li>• 現在完了進行形</li> <li>• It is ... for ~ to ~の構文</li> <li>• want ~ to 動詞の原形の構文</li> <li>• let ~ 動詞の原形の構文</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 間接疑問文</li> <li>• 現在分詞による後置修飾</li> <li>• 過去分詞による後置修飾</li> <li>• 関係代名詞</li> </ul>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 仮定法</li> </ul>

### 4. 使用教材（毎日の授業に必要なもの）

教科書	NEW HORIZEN English Course 3（東京書籍）
補助教材	ジョイフルワーク（新学社）
ノート	英語パーフェクトノート前期・後期（学宝社）
ファイル	ワークシートをとじるブルーのファイル

5. 評価の観点と評価の方法

	評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語に関する基礎的な知識(単語・語句・文法など)を理解し、適切な使い方ができる。</li> <li>会話文や説明文などの英語の情報を目的に応じて正しく読み取ることができる。</li> <li>まとまった英文を読み、それに関する質問に答えることができる。</li> <li>正しい発音や自然な速さで話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。</li> </ul>	<p>【定期テスト・単語テストなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ文法事項について理解している。</li> <li>英文を聞き取り、その内容を正しく聞き取ることができる。</li> <li>英単語の意味やつづりが正確に書ける。</li> </ul>
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや気持ちが相手に正しく伝わるように話したり、書いたりすることができる。</li> <li>聞いたり、読んだりしたものについて、意見を言うことができる。</li> </ul>	<p>【授業中の様子・課題など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられたテーマ、文法事項を用いて正確な英語表現ができる。</li> <li>左記の評価項目にあるような点に気をつけて、発音したり、対話したりすることができる。</li> </ul> <p>【定期テスト・音読/パフォーマンステストなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面に応じて、適切な表現を話したり、書いたりすることができる。</li> <li>英文を読み、内容を理解し、それに関する質問に答えることができる。</li> <li>左記の評価項目にあるような点に気をつけて、英文を聞きとったり、読みとったりすることができるか。</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的にコミュニケーションを図ろうと努力している。</li> <li>話し手に聞き返すなどして内容を理解しようとしている。</li> <li>発表、学び合い学習、ノート作りなどを行っている。</li> <li>言語とその背景にある文化について理解している。</li> </ul>	<p>【授業中の発言・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容を集中してよく聞き、自分の思いや考えを発言しようとする意欲的である。</li> <li>コミュニケーション活動への取り組み(発音練習やペア、グループでのコミュニケーション活動)に積極的に取り組める。</li> <li>与えられた例をもとに、さらに自分なりの追及や発展をした表現方法・表現内容に挑もうとしている。</li> <li>家庭学習課題や提出物、準備物が確実であり、今学習していることは何であるかを意識して授業に臨んでいる。</li> <li>教科書の題材内容や背景、または海外のことに好奇心や興味を持って学習に臨んでいる。</li> </ul>

## 6. 学習方法についてのアドバイス

### <授業>

1. ペア、グループワークに積極的に参加しよう。  
習った英語表現を定着させるために、時間を有効に使い、繰り返し練習しよう。
2. 英語は積み重ねの教科なので、わからないことをそのままにしない努力をしよう。  
授業の中で理解できないことがあったら、その場で先生やなかまに質問しよう。  
ALTの先生に積極的に話しかけてみよう。

### <家庭学習>

1. 予習・復習をしっかりとやろう。
  - 予習として、単語の意味調べや本文写しを確実にして授業に臨もう。
  - 授業で習ったところはその日のうちにノートやワークで確認し、繰り返し復習しよう。  
テストで間違えた問題は、次回のテストにむけて復習しておこう。
  - A) 単語や本文の英語の練習は、必ず発音し、意味を考えながら書くようにしよう。
  - B) 既習の単語リスト、本文プリントを活用し、何度も繰り返し音読練習しよう。
  - C) 学習した文法事項を定着させるために、ワーク(問題集)を使い繰り返し練習しよう。
2. 映画や洋楽、テレビやインターネットの英語番組を通して、生の英語に触れる機会を作ろう。